



就労移行支援事業所 スマイルプラス

**SMILE+**

オープンCAFÉ 報告書  
2017年4月～2018年3月



# 目次

## Contents

第1章 オープンCAFÉとは

第2章 参加者データより

1. 1年間の参加者
2. 参加者データから読み取るニーズ
3. 今後のアプローチ

第3章 運営に関して

1. 運営メンバー
2. ゲスト一覧
3. 協賛企業・団体様のご紹介

第4章 収支報告

第1章

第2章

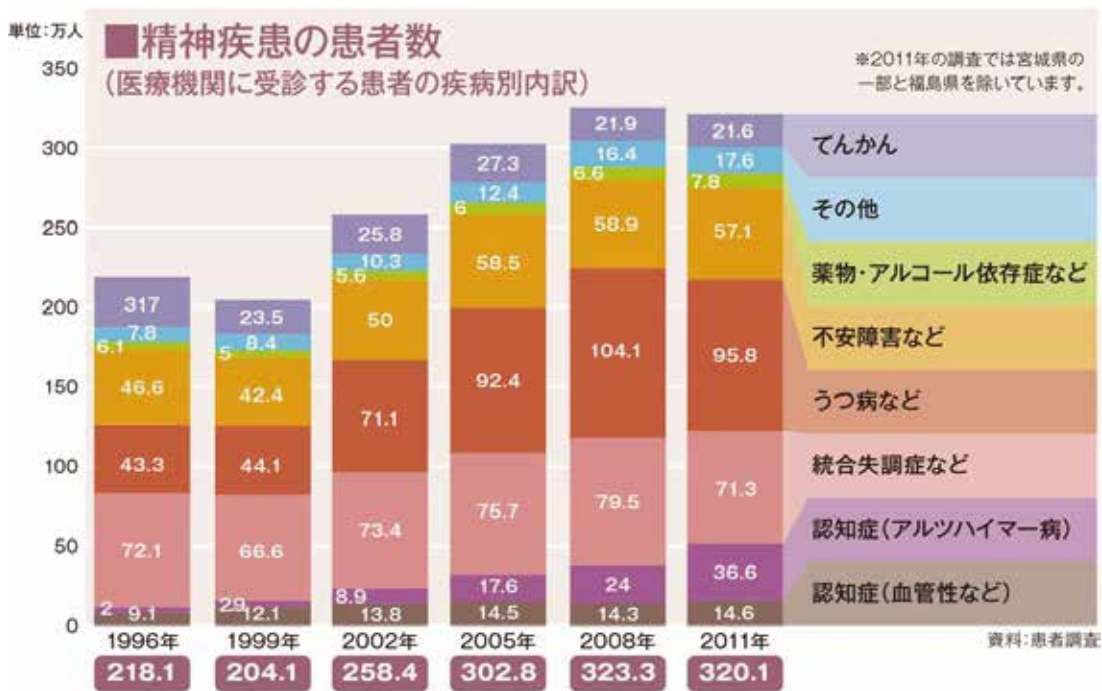
第3章

第4章

# 第1章 オープンCAFÉとは？

## 障がいの有無関係なく参加でき、対話を通じて繋がる場所

在宅と施設入所を合わせると、精神障がい者の方は320万人。40人に1人の割合です。



精神疾患は、特別な人がかかるものではなく、だれでもかかる可能性がある病気です。

地域で共に働き、共に生きていく為には、もっとお互いのことを「知る」機会が必要だと考え、対話を通じて繋がれる場を創ろうという思いで始めました。

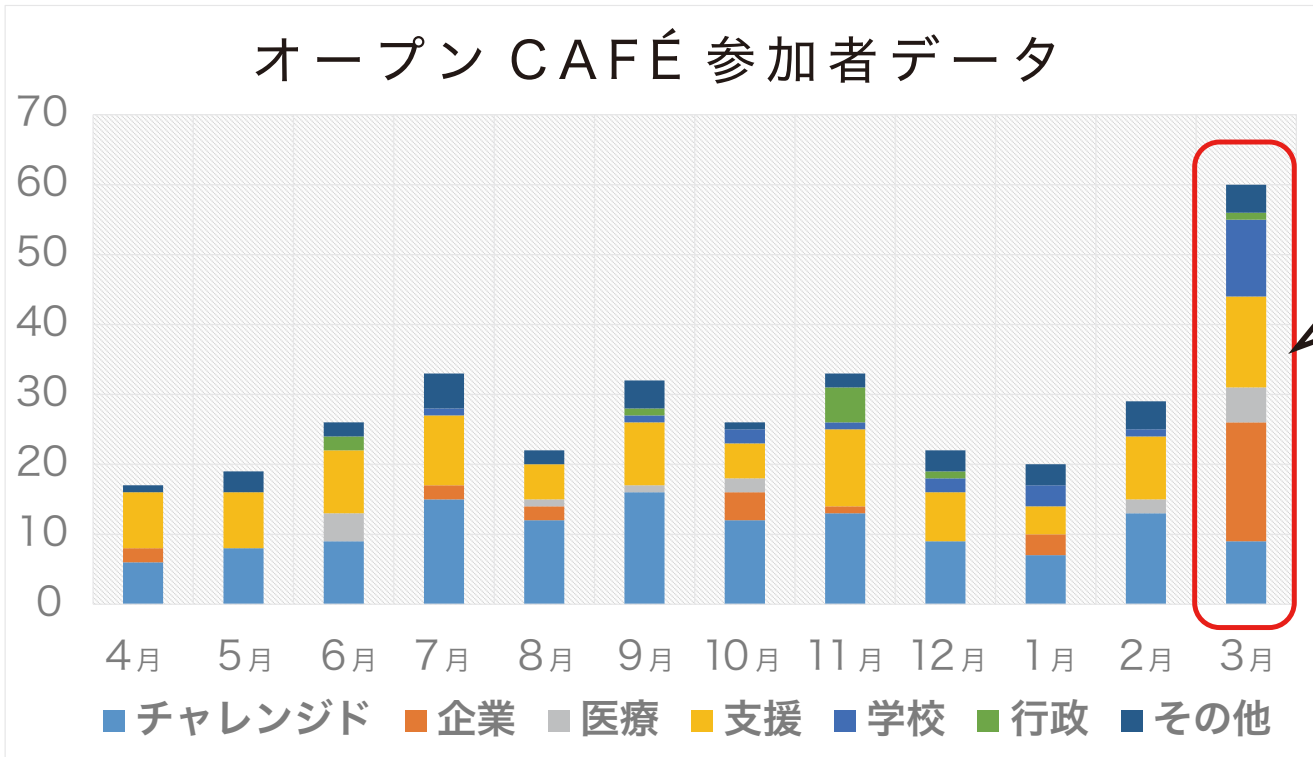
また hikikomori の方の約 9 割がなんらかの精神疾患を抱えていることを知り、hikikomori の方にとっての居場所や、その御家族にとっての相談の場にもなるような取組みについて試行錯誤しています。

※hikikomori の表記

家に引きこもっている方のみならず、人間関係で疎遠になっている人も差しています。

# 第2章 参加者データより

計12回開催！339名の方の参加がありました



立命館大学で開催

4月から毎月末金曜日（14時～16時）のプレミアムフライデーに合わせて開催しました。オープンCAFÉの様子を京都新聞、地元中京区の広報誌に掲載して頂きました。その結果、ご家族様の参加が増えました。

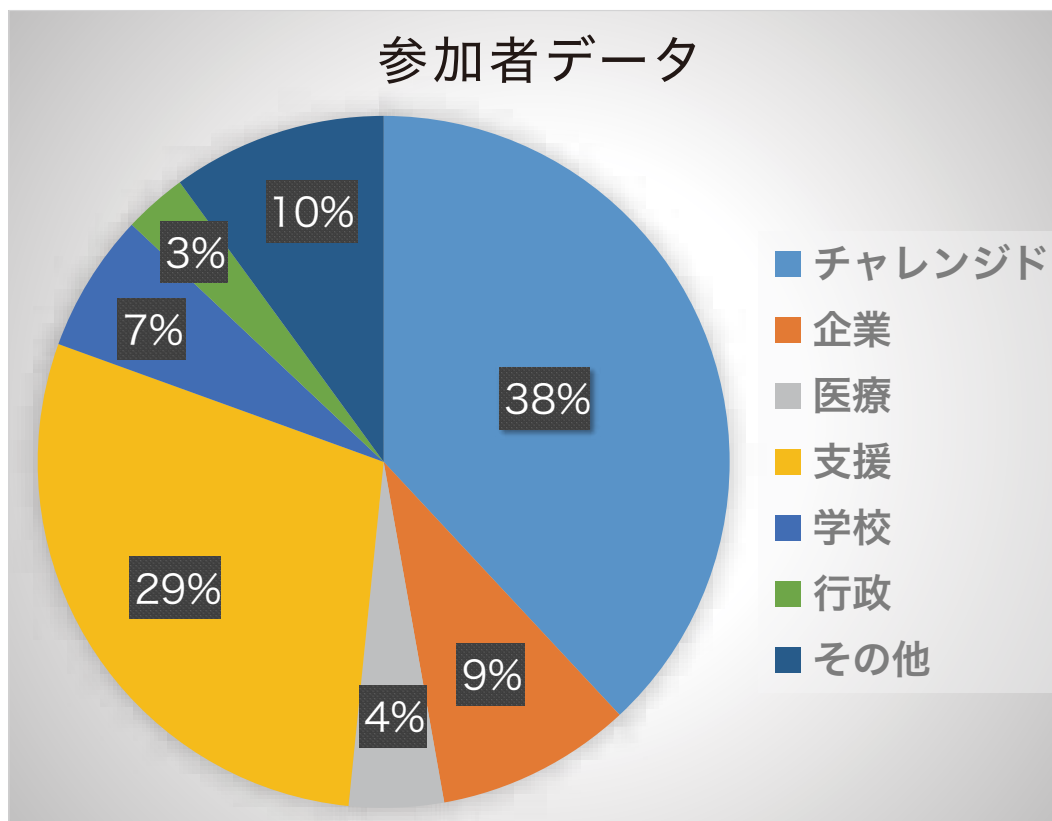
べんがらぼうし2007年12月号  
発行：社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会



2017年7月12日掲載  
京都新聞市民版



### 参加者データから読み取る地域のニーズ



当事者の方の参加や、支援機関からの参加が多い一方で企業様の参加にはなかなか繋がらなかった1年でした。

大きな理由としては、

- ・平日の開催であること
- ・企業が研修としていくための場（公的な研修等）ではないこと が挙げられます。

また、ターゲットとして考えていた hikikomori の方の参加は少なかったものの、そのご家族様の参加が増えました。

#### POINT

支援機関等に繋がっている障がい者の方は、他者と繋がる場を求めている一方で、hikikomori の方にとっては違ったアプローチが必要（その人にメリットを感じてもらえる場づくり）。また、家族様が情報の場・相談の場を求めているという新たなニーズを知ることが出来た。

## 今後のアプローチ



### ピアサポート スマイル京都発足 (月1回開催)

.....

同じ立場の人同士が、悩みや相談を対話を通じて語り合う「場」が自主的に生まれました。

障がいの有無関係なく、支援員でも家族様でも参加OKです。

【主催】 任意団体 スマイル京都

メンバー：松浦 清寿  
              大山 由紀子  
              柳澤 洋行

外部との連携により、開催場所を地域に増やしていきます。

- .....
- 3月30日 立命館大学衣笠
  - 4月25日 天性寺 (MaMan KYOTO)
  - 未定 東山総合支援学校



### 社会的ハンデのある 子供たちとのスマイル塾 (月1回開催)

.....

放課後デイサービスとコラボ。

就労に向けての取り組み

(社会見学、大学生と交流など)を行っています。

2018年4月からは、

パソコントレーニングを入れていく予定です。

【主催】 スマイルプラス烏丸御池

【共催】 Next School

# 第3章 運営について

第1章

第2章

第3章

第4章

## 運営メンバー 協力頂いた方々のご紹介



【運営スタッフ】

FKD株式会社

- ・福田利一
- ・吹田育也
- ・柳澤洋行
- ・西川かおり
- ・宮城はるか
- ・門林 じょん



※田舎と都会を繋ぐ

徳島県上勝町より季節の「葉っぱ」を購入させて頂き、都会にいなから自然を感じる機会となりました。

協力：(株)いもどり 様  
田村様ご夫婦



※芸術（アールブリュット）

障がい者の方の作品を展示し、参加していただいた方に楽しんで頂きました。

協力：就労継続 B 型作業所  
アトリエとも 様  
天才アート KYOTO 様

# 第3章 運営について

## ゲスト一覧

月	所属・名前
6月	株式会社フクナガ（かつくら・リプトン）様
7月	京都LD等 発達障害親の会 様
8月	ピアサポート松浦 様
9月	NPO法人テラ・ルネッサンス 様
10月	積水ハウス株式会社総合住宅研究所 上野様
11月	京都市障害保健福祉推進室 様
12月	高次脳機能障害 写真家／僧侶 岸野 様
1月	株式会社ロマンライフ（マールブランシュ）人事担当者 様
2月	京大病院小児科のボランティアグループ「にこにこトマト」様 京都ワーキングサバイバー 様 エイドネットcafé 様
3月	NPO法人FDA 世界一明るい視覚障害者成澤 様 株式会社Silent Voice 尾中様





# 第3章 運営について

第1章

第2章

第3章

第4章

## 協賛企業・団体様のご紹介



<協賛>

株式会社 フクナガ 様

有限会社 前田珈琲 様

NPO 法人テラ・ルネッサンス 様



<協力>

就労継続 B 型作業所アトリエとも 様

<後援>

株式 会社いそどり 様

京都新聞 様



atelier tomo  
Cafe & Gallery



※ 本事業は共同募金の助成を受けています。

## 収支報告とまとめ

収入

支出

項目	収入	項目	支出
区社協助成金	30000 円	講師交通費	12000円(1,000円×12回)
自己資金	6000 円	チラシ作成費	10000円
		備品購入費	10000円
		雑費	4000円
合計	36000 円	合計	36000円

共同募金の助成、そして地域の企業様からの協賛品の提供のお陰で開催することができました。

障がい者の方のアート作品を B 型作業所の方から、チラシ作成を A 型作業所の方に委託するなど、周りの支援機関の協力も得ながら実施することが出来たことに改めて感謝申し上げます。

引き続き、ご支援賜りますよう宜しくお願い致します。

2018年3月30日付  
文責 柳澤洋行